

女性の健康をサポート 女性の活躍を応援



女性特有の検査は オール女性スタッフで対応

婦人科健診、乳がん検診に携わる医師、看護師、検査技師は、すべて女性です。小田原駅直結の心地よい空間で、ゆっくりとお過ごしいただけます。

働く女性の健康課題に、企業の健康経営に

県内最高水準の設備で 検査を受診いただけます

35歳以上は
人間ドックが
おすすめ

お食事券進呈

年に一度の健診に

- ★定期健診・雇入健診 14,000円
- ★乳房検査セット 11,300円
- ★子宮がん検診 11,000円

★レディース健診 35,000円

定期健診に、乳腺と子宮頸部のがん検診、胃内視鏡などを追加したコースです。

人間ドック

- ★スタンダードコース 48,000円
- ★レディースコース 63,000円

スタンダードコースに、マンモグラフィ、乳房超音波検査、経膈超音波検査、骨密度検査、胃・大腸・卵巣がんの腫瘍マーカーを追加。女性特有の疾病に対応したコースです。



小田原箱根健診クリニック

人間ドック・健康診断・婦人科・放射線科

小田原市栄町1-1-15 ミナカ小田原7階 TEL.0465-24-0077 odawara-kenshin.com
火～金曜：8:30～12:00 / 13:00～16:00 土・日・祝日：8:30～12:00 月曜休診



重要性を増す、 女性の健康支援



小田原箱根健診クリニックの医師に聞く



医師 仁藤まどか

肺がんCT検診認定医師
日本医師会認定産業医



院長 成毛友希

日本産婦人科学会専門医
日本人間ドック学会認定医
女性のヘルスケアアドバイザー
マンモグラフィ読影認定医
日本抗加齢学会専門医

「妊娠、出産、更年期など、女性の身体の変化と健康支援の重要性について教えてください」
成毛「WHOや厚生労働省が提唱する『プレコングセプションケア』という言葉が聞かれたことがあるかもしれません。直訳すると『妊娠前からの健康管理』であり『女性やカップルに将来の妊娠のための健康管理を提供すること』になります。妊娠は女性にとって自然な現象であり、妊娠しても身体は変わりないと思われている方も多いのではないのでしょうか。実は、妊娠によって身体にはさまざまな負担がかかります。もともと何か病気があつ

た場合、妊娠によって増悪し、場合によっては妊娠をあきらめなければなりません。また、妊娠前の体格によってもさまざまな合併症が起ることがわかってきています。リスクの少ない妊娠、出産のためには妊娠前に健診を受けて、自分の身体のことを知っておくことがとても大切です」

仁藤「妊娠、出産、更年期をはじめ、一生涯で女性が健康に不安をもつ機会はずっと多いですね。不安が足かせとなつて仕事に集中できなくなつたり、離職を検討せざるを得なくなることもしばしばあります。しかし、多くの女性は、仕事や育児の『忙しさ』を理由に健診を後回しにしがちです。働く女性が増え、女性の活躍が企業の成長にとって不可欠な今、経営や生産性に女性の健康支援はますます重要性を増しています。女性が健康に自信を持つことでより仕事に集中し、スキルアップへの挑戦につながるという点も、企業としては重要視していく必要があると考えます」

します。卵巣機能が低下して、女性ホルモンのエストロゲンが急激に低下し、ホルモンバランスの乱れが生じ、月経周期にムラが出始めます。血管運動神経症状といわれる発汗やホットフラッシュ、のぼせといった症状や頭痛、肩こり、さらには気持ちが悪く、いらいらするなどの精神面でもさまざまな症状が引き起こされます。また、更年期は職場での地位の変化や子どもの独立、親の介護などさまざまな出来事が重なる時期でもあります。そのような身体や環境の変化で引き起こされてくる症状により日常生活に支障をきたすようになってきた状態を『更年期障害』と呼びます」

仁藤「35歳を過ぎ、40代、50代を迎え時期とともに、女性の呼吸器系のリスクも増していきま。最近の研究では更年期に急激に低下する女性ホルモンのエストロゲンが肺がんの発生率に関与していることが判明しています。非喫煙者の肺がん発生率は男性に比べて女性の方が高いのです。女性のがんの死亡率で肺がんは大腸がんに次いで2位。肺がんは早期に症状が出にくく、転移しやすいがんでもあります。喫煙歴がある方はもちろん、40歳以上の方は肺が

んのリスクを認識して、定期的に胸部CTや腫瘍マーカーを組み合わせて検査をすることをお勧めします」

「身体の変化とともに増す病気のリスクと、どのように向き合っていくか良いでしょうか」
成毛「更年期障害の症状がなくても『更年期』という時期は、誰にでも必ずやってきます。女性ホルモンが低下すると、骨粗鬆症やコレステロール値の上昇、動脈硬化などさまざまな病気が起こりやすくなります。更年期前後にはきちんと健診を受けて自分の身体の状態をしっかり確認し、一度生活習慣を見直してみることが大切です。人生100年の時代、更年期を上手に乗り越え、より健康でいきいきとした生活を送りましょう」

仁藤「呼吸器疾患に関しては、肺がん、慢性閉塞性肺疾患、感染症など多岐にわたります。いずれも早期発見と治療が最も重要であり、その後の生活を大きく分けます。『忙しい』からこそ、手遅れにならないよう人間ドックなどを受診することが大事です。仕事でも家庭でも、女性がいきいきと輝いていくために、企業では女性の健康支援を積極的に推進していた

と一般的な閉経前後の5年間、合計10年間を指

す。喫煙歴がある方ももちろん、40歳以上の方は肺が

を積極的に推進していた

更年期の乗り越え方は？
肺がんのリスクは？
インタビュー全文は
ホームページへ



痛みが少ない
マンモグラフィ

